

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成29年2月21日

計画の名称	生活排水の適切な処理の推進		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	恵那市
計画の目標			

下水道整備を行い、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を目指します。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①重要な管渠の地震対策実施率を42.1%（H22）から100%（H26）に増加させる。
- ②下水道処理人口普及率を57.1%（H22）から60.7%（H26）に増加させる。
- ③下水道による都市浸水対策の達成率を32.6%（H22）から35.3%（H26）の現況。
- ④処理場における長寿命化計画策定率を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。
- ⑤処理場の日最大処理能力を70.8%（H22）から100.0%（H26）に増加させる。
- ⑥発生汚泥量の増加に伴い、汚泥処理設備を増設する。75%（H22）から100%（H26）に増加させる。
- ⑦処理場の長寿命化計画により健全度の低い施設の健全度を向上させる。0%（H22）から33.3%（H26）に増加させる。
- ⑧流入流量の増加に伴い、流量調整槽を設置し、水処理への影響を軽減する。0%（H22）から100%（H26）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	備考
② 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	57.1%	59.4%	60.7%	
③ 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	32.6%	32.6%	35.3%	
④ 処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）	0.0%	100.0%	100.0%	
⑤ 処理場の日最大処理能力	70.8%	79.2%	100.0%	
⑥ 汚泥処理設備の増設 現汚泥処理設備数／計画汚泥処理設備数×100	75.0%	100.0%	100.0%	
⑦ 健全度の向上率 健全度向上施設（箇所）／健全度低下施設（箇所）	0.0%	0.0%	33.3%	
⑧ 水処理の影響軽減率 水処理への影響を軽減した施設（箇所）／水処理への影響を軽減する施設（箇所）	0.0%	0.0%	100.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	823	A	810	B	—	百万円	C	13	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.6%
-------	---------------	-----	---	-----	---	---	-----	---	----	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

市内部組織にて実施

事後評価（中間評価）の実施時期

交付期間の終了後に実施

公表の方法

恵那市ウェブサイトに掲載

上段 (計画)
下段 (実施)

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1 道路事業																	
No.1 奥戸処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	改築	恵那浄化センター水処理施設 (長寿命化・処理場)	長寿命化計画策定	恵那市						22.0 19.0	長寿命化
A1-1-2	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	増設	恵那浄化センター水処理施設 (水質保全)	水処理施設 (3,200m3/日)	恵那市						94.0 79.0	
A1-1-3	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	改築	恵那浄化センター水処理施設 (水質保全)	管理棟、水処理施設 (耐震補強)	恵那市						13.0 13.0	地震
A1-1-4	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚水	新設	野尻・野畑地区面整備 (未普及解消)	φ=150mm L=0.0km	恵那市						0.0 0.0	
A1-1-5	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	雨水	新設	阿木川右岸第6雨水幹線 (浸水対策)	B1.0m×H0.8m L=0.2km	恵那市						52.0 8.0	
A1-1-6	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	雨水	新設	黒岩川第2雨水幹線 (浸水対策)	B1.7m×H1.2m L=0.3km	恵那市						8.0 0.0	
A1-1-7	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚水	改築	石田神ノ木幹線 (地震対策)	φ=600~450mm L=0.19km	恵那市						23.0 15.0	地震
A1-1-10	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	改築	恵那浄化センター水処理施設 (長寿命化・処理場)	水処理施設 (3,200m3/日)	恵那市						8.0 7.0	長寿命化
A1-1-12	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理 汚泥処理	改築	恵那浄化センター中央監視施設 (長寿命化・処理場)	中央監視装置 N=1式	恵那市						66.0 73.0	長寿命化
No.2 恵那峡処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	増設	アクアパーク 恵那峡水処理施設 (水質保全)	水処理施設 (1,250m3/日)	恵那市						10.0 0.0	
A1-2-2	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚水	新設	土々ヶ根地区面整備 (未普及解消)	φ=150mm L=0.1km	恵那市						8.0 6.0	
A1-2-3	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚水	新設	原・元起・雀子ヶ根地区面整備 (未普及解消)	φ=150mm L=2.9km	恵那市						111.0 119.0	
No.3 岩村処理区																	
A1-3-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	改築	岩村浄化センター水処理施設 (長寿命化・処理場)	長寿命化計画策定	恵那市						15.0 15.0	長寿命化
A1-3-3	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	新設	岩村浄化センター水処理施設 (水質保全)	流量調整槽 (V=330m3)	恵那市						149.0 145.0	
No.4 明智処理区																	
A1-4-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	水処理	増設	明智浄化センター水処理施設 (水質保全)	水処理施設 (1,305m3/日)	恵那市						264.0 181.0	
A1-4-2	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚水	新設	新井・吉良見地区面整備 (未普及解消)	φ=150mm L=1.5km	恵那市						97.0 84.0	
A1-4-3	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚泥処理	増設	明智浄化センター汚泥処理施設 (資源循環)	汚泥脱水機 (7kgDS/時)	恵那市						22.0 0.0	
No.5 全域																	
A1-5-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市		全種	効率的な事業実施のための検討	検討資料作成 一式	恵那市						27.0 4.0	
No.6 竹折処理区																	
A1-6-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	汚水	新設	竹折地区面整備 (未普及解消)	φ=150mm L=0.23km	恵那市						47.0 42.0	
小計 (下水道事業)												1,036.0 810.0					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
No. 4	明智処理区															
C-4-1	下水道	一般	恵那市	直接	恵那市	新設	吉良見地区の枝線末端管整備	L=0.3 k m	恵那市						13.0	
										合計					13.0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C-4-1	基幹事業である幹線と接続した枝線及び末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・石田神ノ木幹線（地震対策）を行い、汚水幹線管渠の耐震化・減災対策の向上を図った。
- ・野尻・野畑地区面整備（未普及解消）等を行い、対象区域の汚水の適正処理を推進し、生活環境の向上と公共用水域の水質保全の向上を図った。
- ・阿木川右岸第6雨水幹線（浸水対策）等を行い、対象区域の雨水の適正処理を推進し、生活環境の向上を図った。
- ・恵那浄化センター水処理施設（長寿命化・処理場）等を行い、下水道長寿命化計画を策定し、事故の防止とライフサイクルコストの最小化を考慮した計画的な工事の推進を図った。
- ・恵那浄化センター水処理施設（水質保全）等を行い、増設・改築等の整備を推進し、処理能力の向上と公共用水域の水質保全の向上を図った。

II 定量的指標の達成状況	指標①（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標②（下水道処理人口普及率）		60.7%		実施整備面積は目標を達成した。ただし対象地区の人口減少により普及率は目標を下回った。（H22年度初：31,700/52,200=60.7% →H26年度末：31,125/52,606=59.2%）
			59.2%		
	指標③（下水道による都市浸水対策達成率）		35.3%		交付期間内において、新たにリニア中央新幹線の軌道計画が定かとなった。これにより当初計画を見直しリニア中央新幹線の整備計画と整合を図り、事業実施を先送りすることとなった。このことにより目標が達成できないこととなった。
			32.6%		
	指標④（処理場における長寿命化計画策定率）		100.0%		
			100.0%		
	指標⑤（処理場の日最大処理能力）		100.0%		交付期間内において、新たにリニア中央新幹線の軌道計画が定かとなった。これにより当初計画を見直しリニア中央新幹線の整備計画と整合を図り、事業実施を先送りすることとなった。このことにより目標が達成できないこととなった。
			91.0%		
	指標⑥（汚泥処理設備の増設率）		100.0%		計画策定時は下水道処理量の増加が見込まれることから汚泥処理設備の増設を計画していたが、下水処理量が平衡状態であることから増設の必要性がないため実施を先送りすることとなった。このことにより目標が達成できないこととなった。
			75.0%		
	指標⑦（健全度の向上率）		33.3%		
			33.3%		
	指標⑧（水処理の影響軽減率）		100.0%		
			100.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

下水道整備事業は汚水の適正処理を進めるため引き続き主要な浄化センターの改築事業を推進し、生活環境の向上と公共用水域の水質保全の確保に努める。